

Kyoto Hollywood News

京都ハリウッド通信

管野美穂が「うらめしやく」

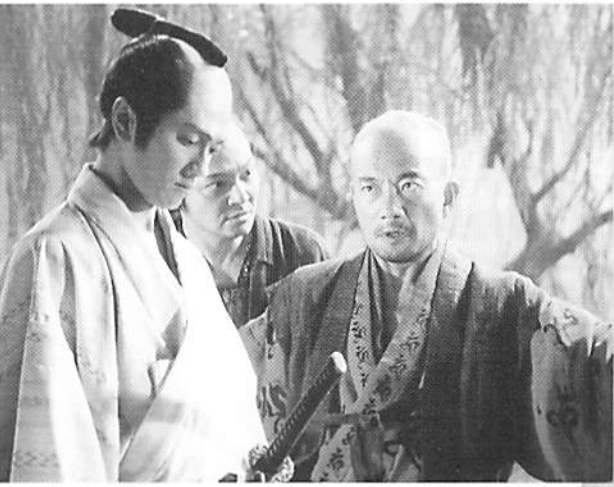
CX系「怪談百物語」続報

番組中、いわば「ストーリーテラー」として登場する唯一のレギュラー・竹中直人。陰陽師の末裔で摩訶不思議な事象に巻き込まれる



「四谷怪談」でお岩さんを演じる管野美穂。その他ラインナップは「雲女」「闇町血闘」「狼男」「耳なし芳一」「源氏物語〜六条御息所の怨霊〜」「かくや姫」「雨月物語」

管野美穂、松雪泰子、木村佳乃、ユースケ・サンタマリア、椎名信平、萩原聖人、原田龍二、吹越満、窪塚洋介、岸谷五朗、りょうらトレンディ・ドラマで活躍の売れっ子たちが京都に集結、日本古来の怪談に挑んだ異色ドラマがフジテレビで放映中の「怪談百物語」(毎週火曜夜8時放映)だ。「四谷怪談」「耳なし芳一」



などをもCGや特撮を駆使して描く一話完結の時代劇版「世にも奇妙な物語」で、唯一のレギュラーが竹中直人。竹中は陰陽師の末裔で血のなせる業か怨霊や妖怪が見えてしまい、摩訶不思議な事象に巻き込まれるのだが、その実は大変な臆病者で、悪霊供養や退散を試みるものの結果ははかばかしくないという、ちよっと茶目つけのある憎めないキャラクター。その竹中が各回の主役を紹介する形でストーリーは展開する。

キャストと共にスタッフもトレンディドラマで活躍する超売れっ子ばかり。企画は「忠臣蔵1/47」「女子アナ」の保原賢一郎と映像京都の西岡善信、プロデュースは「救急病棟24時」の中島久美子。「ほん」とあった怖い話シリーズ」の後藤博幸、映像京都の酒井実。脚本は「ラブ・ジネレシオン」の浅野妙子、「シヨムニ2」の十川誠司、「ウエディング・プランナー」の高橋美幸、キャラクターボックスの真柴あずきら。音楽は「沙粧妙子最後の事件」の岩代太郎。京都発トレンディ怪談をお見逃しなく!

来年の新春は新選組!!

浅田次郎「壬生義士伝」

本年1月2日にテレビ東京の10時間ドラマとして放映され、異例の9.1%という高視聴率を記録した浅田次郎原作「壬生義士伝」が中井貴一、佐藤浩市主演で松竹が映画化。松竹京都映画撮影所で5月11日よりクランクインし、7月中旬に撮影が終了した。2003年新春第2弾として全国松竹系でローションされる。

もともと根強い人気を誇るモチーフである新選組。この「壬生義士伝」は週刊文春で連載、新選組では無名の吉村貞一郎が、守銭奴と蔑まれながらも自分の家族を養うために必死に幕末を生きた姿を感動的に描き、累計25万部を突破する大ベストセラーとなった作品。

10時間ドラマを放映したテレビ東京のホームページには放送後の今も感想を書き込みアクセスが絶えず寄せられ、6月に発売されたDVDも好評なセールスを記録。監督は映画「陰陽師」を大ヒットさせた滝田洋二郎。

話題の石坂浩二が救い屋稼業時代

「暗闇仕留人」DVD発売

石坂浩二が金で借金を晴らす殺し屋に? ちよと意外なキヤスティングと興味をそそる。突然の離婚、病氣による黄門後の降板と、最近話題を振りまいた石坂浩二の若かりし頃の作品が、この必殺シリーズ第4弾「暗闇仕留人」。

時は黒船来航の幕末。石坂演じる糸井は蘭学を学び弾圧され、病身の妻を抱えて江戸へ。そこで仕留人を解散後の中村主水(藤田まこと)と出会い、石坂の大吉(近藤洋介)らと仕留人グループを結成する。

傑作なのは大吉の殺し業「心臓つかみ」、素手で心臓を握り潰す荒業で、握り潰す瞬間はレントゲンで、心臓はオシロスコープで表現されている。石坂の殺し業は三味線のパチで、喉を切り裂く。本作が全話商品化されるのは今回初めてで、キングレコードよりDVD・BOX上巻(15話収録)は11月6日、下巻が2003年1月8日にリリース。単品も全7巻のトールサイズは11月6日より毎月リリースされる。

呪って呪って呪い狂ら!

「怪談釘狂い」

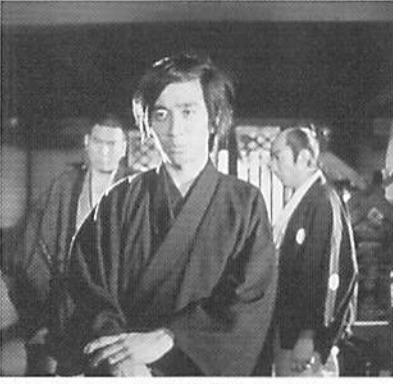
小生が脚本・監督の「妖奇怪談全集」第4弾。重役の娘・和江(三輪)は静雄(岩松高史)と恋に陥るが、静雄は晴美(大野由加里)とも関係しており、三角関係に。そして晴美の策謀で顔を砕かれた和江は静雄に捨てられ、晴美と静雄は結婚する。

復讐を企てた和江は二人を呪って人形を作り、飲まず食わずで五寸釘を打ち続け、ついには死んでしまう。そして和江の怨霊が現れ、晴美と静雄は和江の怨霊により凄惨な最後を。今回のキーワードは「釘」。目玉に釘が突き刺さるなど、先端恐怖症の方に耐えられない場面も用意。大塚、東京の上巻も感嘆、名古屋と福岡の上巻も予定されている。釘を打つ三輪娘の鬼々迫る演技や、音響を担当した京極夏彦氏が効果音を30種類も作成した釘を打つ音にも注目。



復讐に燃える和江(三輪ひとみ)は、憎い晴美と静雄を呪って、恨ましく、ハゲ上がったオバケメイクで人形に五寸釘を打ち続ける。

ついに呪いは効力を発揮。静雄の両目には呪いの五寸釘が突き立った。先端恐怖症の方に耐えられない場面。



石坂浩二が殺し屋稼業。蘭学を学び弾圧され、病身の妻を抱えて江戸に流れて晴らす恨めさを晴らす仕留人グループに加入する。「老けない役者」の代表のような石坂だが、さすがに若い!



新選組に入隊した吉村貞一(中井貴一)の武士からめ強欲さを新選組三番隊長の藤原(佐藤浩市)は気に入らない。ちなみに中井と佐藤は映画初共演

トピックス

5代目嵐寛寿郎に「嵐寛寿郎」(水戸黄門)の嵐寛寿郎が京都府立総合文化センターで7月よりスタート。体調不良で降板したのびのびに代わって、かつて助六を演じていた嵐寛寿郎が京都府立総合文化センターで5月11日よりクランクインし、7月中旬に撮影が終了した。2003年新春第2弾として全国松竹系でローションされる。

今日の言葉

「妖奇怪談全集」の大阪、東京のイベントも盛況に終わり、ご来場いただいた観客の方々には、ただただ感謝の一言。好評につきシリーズ続行の企画も浮上。現在準備中で来春撮影予定の映画と、テレビの2時間時代劇特撮の企画も着々と進行中。巻の歩みのごく遅々として進まないが、動き出せば怒涛のような忙しさに襲われるのがこの業界。不安と期待が入り交った複雑な心境。

2002年8月1日 山田誠二

責任編集人 山田誠二

1963年生まれ。京都を拠点に、映画のプロデュース、脚本、評論の他、コミック原作など多方面で活躍の作家。映画関連著作多数執筆。